

クビアカツヤカミキリ

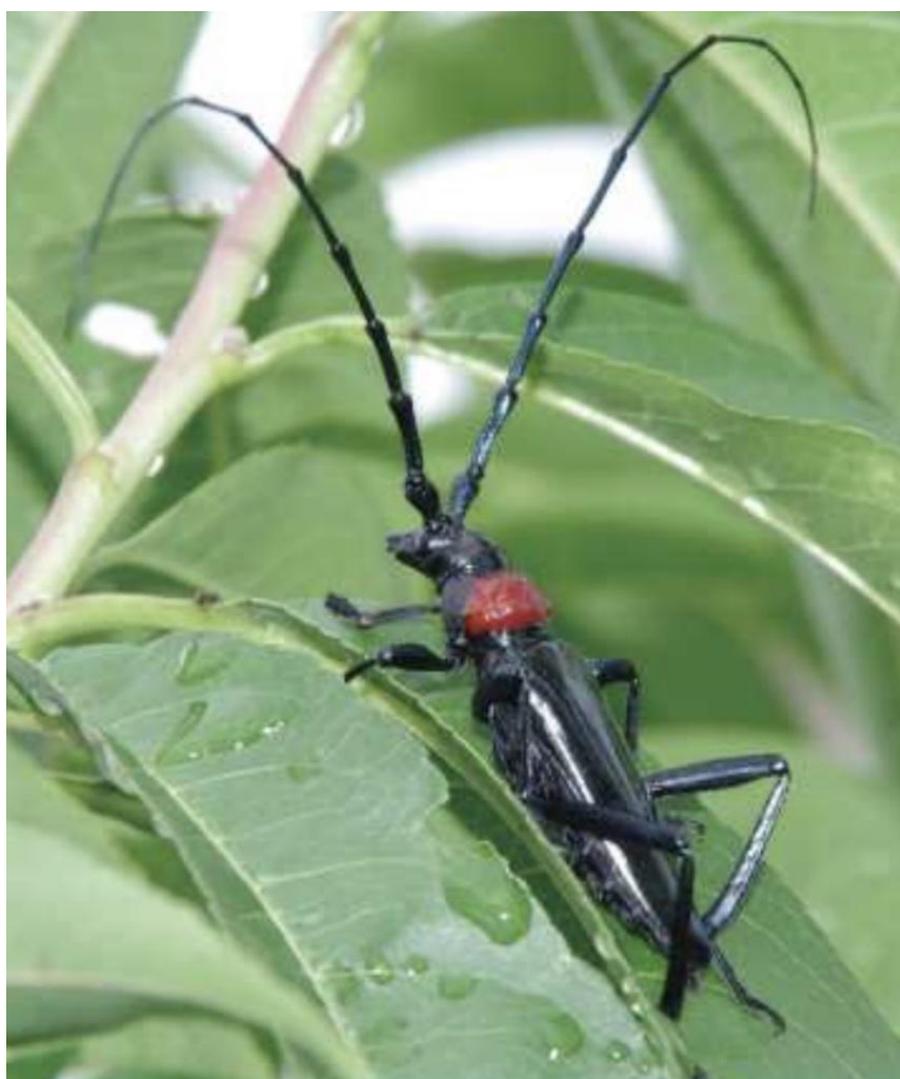


導入：明石市内の桜の危機

春の風物詩である桜

桜の木を食べる外来種の虫

名称は「クビアカツヤカミキリ」

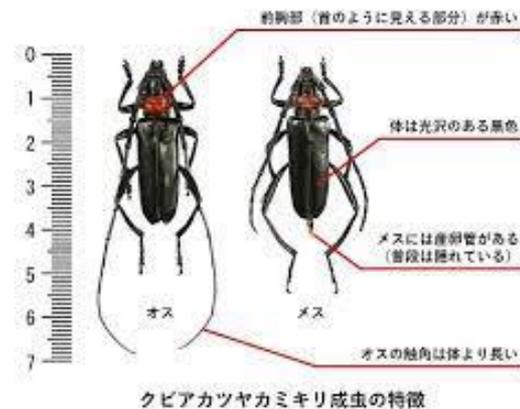


クビアカツヤカミキリの生態

- ・サクラやモモなどのバラ科樹木に産卵し、幼虫が木の内部を食べることで枯らす可能性がある。
- ・2018年に特定外来生物に指定され、被害が全国で深刻化している。
- ・幼虫は「フラス」と呼ばれる食べた木屑と糞の混ざったものを排出する。



フラスを探すことで生息を確認することができる！！



背景

- ・石ヶ谷墓園のすぐ近くでクビアカツヤカミキリが発見された
500mほどの距離にある公園
- ・石ヶ谷墓園ではクビアカツヤカミキリの調査が行われていない

研究内容

- ・桜の木のナンバリングを行う
- ・フラスの有無を調査し、樹木番号を記入した調査マップを作成する

ナンバリングを行う

- ・樹木用のテープを木の幹に貼り付ける
- ・貼り付けるときは大型のホチキスの針を打ち込む



桜の木の見つけ方

木の選別で重要な要素

- ・葉の縁がギザギザしている
- ・幹
- ・芽

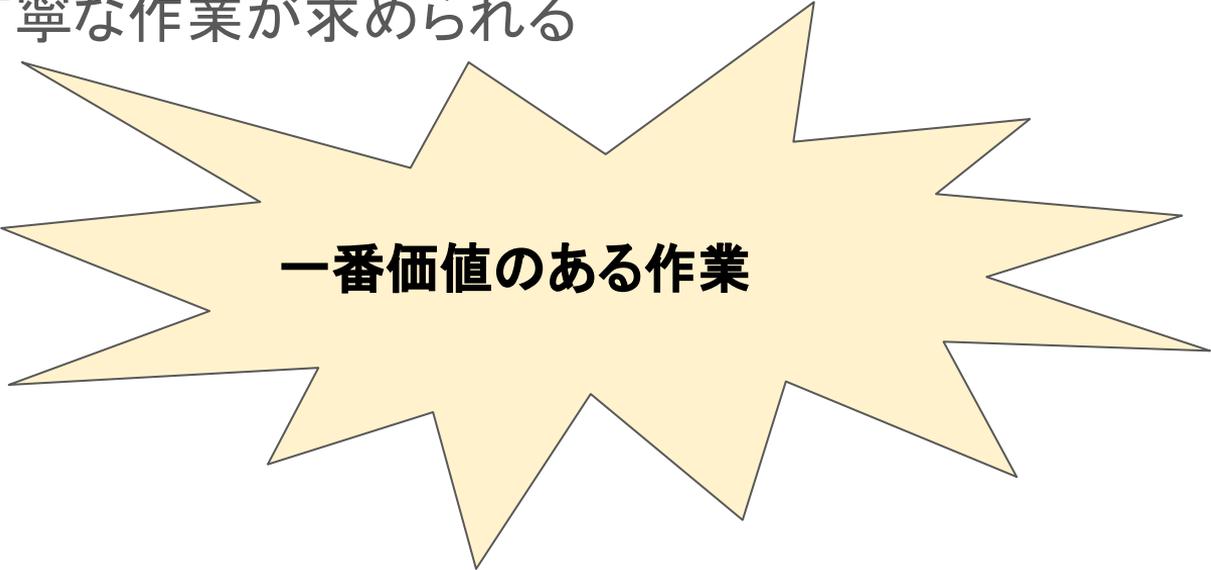


調査マップの作成

紙の地図に桜の木と番号を書き込んで作成する

完成後は明石市に提出し今後の調査に活用して貰う

公文書として残るので丁寧な作業が求められる



一番価値のある作業

フラスの有無を調査する

- ・木の幹にフラスが無いか確認する
- ・一本の木に対し、2人以上で確認するのが良い
- ・地表に出た根元～2mあたりにフラスが存在する

フラスを出す他の生物との見分け方

クビアカツヤカミキリ

うどん状で固い

フラスのひと粒に注目：他の虫との見分け方

コスカシバ

つぶつぶで簡単に崩れる



* イメージ図

コスカシバの成体



結果

- ・石ヶ谷墓園内の桜の本数は360本
- ・フラスがあった木は22本
- ・フラスの多くは木の大きさがある程度大きな木に付いていた

見つかったフラス

- ・フラスが確認されたのは全360本の
- ・ほぼすべてコスカシバのフラス



考察

- ・クビアカツヤカミキリはまだ拡散されていない
- ・古い木に好んで産卵するのではないか

反省・感想

時期が悪かった

- ・幼虫の活動時期と調査の時期が重なっていなかった
- ・落葉により桜の木の識別が難しくなった

サンプル数が少なかった

参考文献

[ひょうごの環境 :: クビアカツヤカミキリに関するお知らせ \(hyogo.lg.jp\)](http://hyogo.lg.jp)

[★最終版★兵庫県クビアカツヤカミキリ防除対策指針 \(akashi.lg.jp\)](http://akashi.lg.jp)

[コスカンバ \(insects.jp\)](http://insects.jp)

[\[環境\]\[お知らせ\]「大阪城のサクラを守れ！」中学生と大阪城公園のクビアカツヤカミキリ調査を実施しました！ | 大阪府立環境農林水産総合研究所 \(knsk-osaka.jp\)](http://knsk-osaka.jp)

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」を題材とした授業実践と防除対策 —サクラ被害マップの作製と活用—

[_pdf \(jst.go.jp\)](http://jst.go.jp)

[クビアカツヤカミキリの被害が発生・拡大しています！ | 東京都環境局 \(tokyo.lg.jp\)](http://tokyo.lg.jp)

樹幹注入処理によるクビアカツヤカミキリ幼虫の防除効果

[000945809.pdf \(mie.lg.jp\)](http://mie.lg.jp)

ご清聴ありがとうございました！！

